

## アイ・ケイ・ケイ(東 1:2198)

バリュエーション判断  
前回 強気 ⇒ **強気**  
(2018.12.25)  
目標株価  
875 円 → **840 円**

スモールミーティング:2019年6月5日

担当: 石飛 益徳

【連結】 (百万円、%、円:Q/四半期、会/会社計画、予/エース経済研予想:権利落ち修正後)

決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2018/10 2Q	9,160	7	512	-27	526	-25	345	-43	11.7	0.00
2019/10 2Q	9,031	-1	418	-18	429	-18	281	-19	9.5	0.00
2017/10	18,172	1	1,821	-16	1,825	-16	1,319	-2	44.9	12.00
2018/10	20,009	10	2,067	14	2,094	15	1,365	3	46.3	12.00
2019/10 会	20,010	0	1,910	-8	1,920	-8	1,250	-8	42.1	12.00
2019/10 予	20,050	0	1,920	-7	1,930	-8	1,260	-8	42.4	12.00
2020/10 予	20,960	5	2,100	9	2,110	9	1,380	10	46.5	14.00

【売上構成】	19/10期第2Q	【PER】	【財務指標】	19/4末		
婚礼事業	95.7%	18/10	16.4 BPS	396円 株価(6/12終値)	692円	
葬儀事業	1.5%	19/10予	16.3 純資産	11,783百万円	売買単位	100株
介護事業	2.8%	20/10予	14.9 総資産	20,291百万円	発行株数	29,695千株
			時価総額	20,549百万円	PBR	1.7倍

※発行株式数は自己株式を除く。EPS、BPS、時価総額も同様に算出。

### <注目ポイント>

- ①2000年に九州初のゲストハウス・ウェディング施設を開業、競争が激しい大都市圏ではなく、成長余力のある地方都市を中心に展開、2019年4月末現在17店舗33バンケットを運営。2017年に進出したインドネシアで1施設・2バンケットの運営を開始、今期は営業黒字化へ。
- ②「お客様の感動のために」という経営理念の実現に注力。平均敷地面積は3000坪を超え、自然との調和を重視した施設、料理、「おもてなし」の心を体現したサービスにこだわっている。
- ③2019年10月期第2四半期は前年同期比1%減収の90億31百万円、同18%経常減益の4億29百万円、当期利益同19%減の2億81百万円だが、期初計画を上回る進捗。
- ④通期計画の売上高200億10百万円(前期比微増)、経常利益19億20百万円(同8%減)、当期利益12億50百万円(同8%減)は据え置き。7月に神戸支店が開業、前人気は上々。
- ⑤エース経済研究所でも、今期予想の売上高200億50円、経常利益19億30百万円、当期利益12億60百万円を据え置くが、上振れ余地があると見ている。
- ⑥2020年10月期は、東京支店の開業を前提に、売上高209億60百万円、経常利益21億10百万円、当期利益13億80百万円と像増益を予想。

### バリュエーション判断は強気を継続

ハウスウェディング上場3社の過去1年の平均予想PER8~17倍強に対し、同社は同17倍台に評価されてきた。エース経済研究所では営業利益率10%以上を維持しつつ、ウェディングの品質向上にこだわる姿勢を評価しており、目標株価は来期予想EPS×PER18倍の840円とする。現在の株価水準から、バリュエーション判断も強気を継続する。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載致しました。ご確認の程、お願い致します。

## 《アナリストによる宣言》

私、石飛 益徳は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。  
また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

## 《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。  
また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等: エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号  
加入協会: 日本証券業協会  
指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

### ■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.242%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,700 円)(税込み)が必要となります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

## エース証券及び ARI 免責事項等

- 当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
- 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの一切責任を負うものではありません。

※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。  
電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。